

自治・文化・経済部会資料

施策4-1-2 魅力と活力のある商業地域の形成

経済労働局
平成29年5月

資料をご覧ください。上での注意事項

この資料は、平成29年5月29日に行われた平成29年度川崎市政策評価審査委員会第3部会の資料ですが、成果指標等の数値について、部会の時点では未確定であったもので、平成29年8月の時点で確定した際に数値が更新されているものなどについて、資料中に注記を加えております。

施策の概要

概要 背景 取組 成果 まとめ

基本政策(1層) 活力と魅力あふれる力強い都市づくり

政策(2層) 川崎の発展を支える産業の振興

施策(3層) 魅力と活力のある商業地域の形成

直接目標 魅力と活力のある商業地域の形成や付加価値が高く競争力のある商品の供給により、商業を活性化させる

主な事務事業

商店街課題対応事業	卸売市場施設整備事業
商業ネットワーク事業	
地域連携事業	
まちづくり連動事業	
商業力強化事業	
卸売市場の管理運営事業	

実施計画に位置付けた成果指標

成果指標①		小売業年間商品販売額			
算出方法	商業統計調査の小売業年間販売額				
指標の考え方	小売業年間商品販売額は、市内での消費活動が反映され、市内商業地域の状況を客観的に把握できることから、これを指標として設定することで取組の成果を測ることができる。				
指標の目標値	9,838億円(H26)	1兆円(H29)	1兆円(H33)	1兆円(H37)	
目標値の考え方	本市は、全国との状況と比べて人口が増加しているが、市民・事業者の高齢化が進む中で、年間商品販売額を維持していくことを目標とする。なお、平成26年度の数値は平成26年度商業統計調査(速報)による。				
成果指標②		市場の年間卸売取扱量			
算出方法	北部市場と南部市場の青果及び水産物の取扱量				
指標の考え方	市場取扱量が、その市場の状況や規模を客観的に明確に示す最適な指標であることから、これを成果指標として設定することで取組の成果を測ることができる。				
指標の目標値	151,433t(H26)	151,433t(H29)	151,433t(H33)	151,433t(H37)	
目標値の考え方	全国的に市場経由率が低下し、市場を取り巻く環境が厳しい中、本市場においては、現状の市場機能の維持・持続を図り、取扱量の確保を目標とする。				

市内商業エリアの分布イメージ

- 川崎市商業振興ビジョンにおいて、エリアごとの商業振興の方向性を位置付けるため、商業エリアを5つに分類している。
- 商店街を中心とした地域が一体化した「商業集積エリア」の形成を図り、地域全体のまちづくり・活性化に取り組む。

超広域拠点型エリア(川崎駅周辺)
都市ブランド力のある商業集積地の形成
・ハロウィン等、他都市からも認知されるイベント実施による情報発信し、都市ブランド力を向上

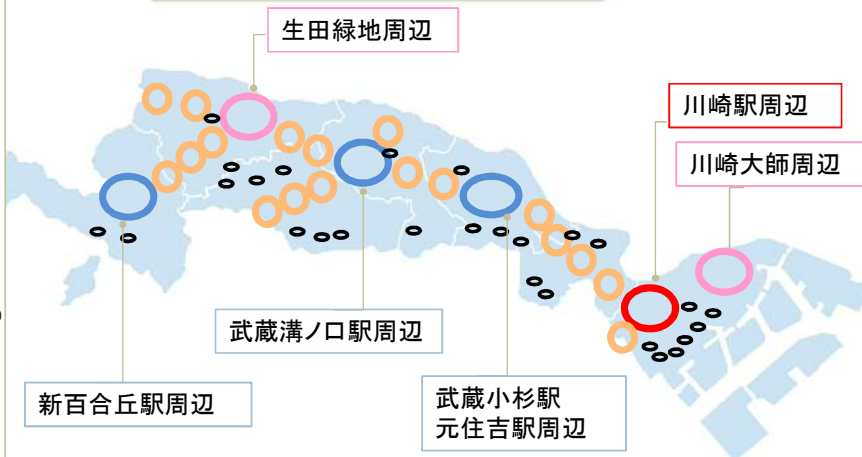
広域拠点型エリア(新百合ヶ丘駅周辺ほか)
鉄道沿線の地域資源を活かした魅力優位の商業集積地の形成
・スポーツ、音楽、映像、国際交流等の地域資源を活かした取組を展開

地域拠点型エリア(その他の鉄道駅周辺等)
地域の個性と賑わいを活かした商業集積地の形成
・商店街、大型店、大学等と一体となったイベントの充実や新サービスの取組

コミュニティ拠点型エリア(その他商店街等)
住民に最も身近でコミュニティの核となる商業集積地の形成
・地域のコミュニティ機能の強化や生活必需品を扱う店舗の維持

テーマ型エリア(川崎大師周辺ほか)
都市観光拠点を活かした商業集積地の形成
・羽田空港国際化や生田緑地の魅力向上に係る情報発信による活性化の取組

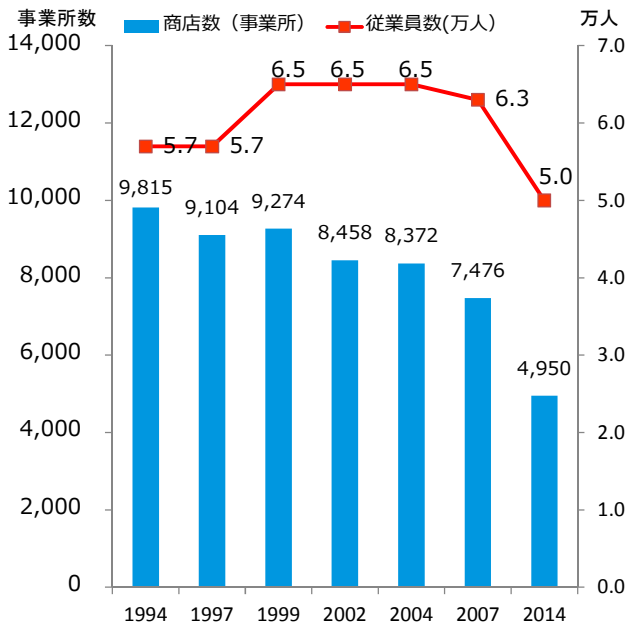
商業集積エリアの分布イメージ



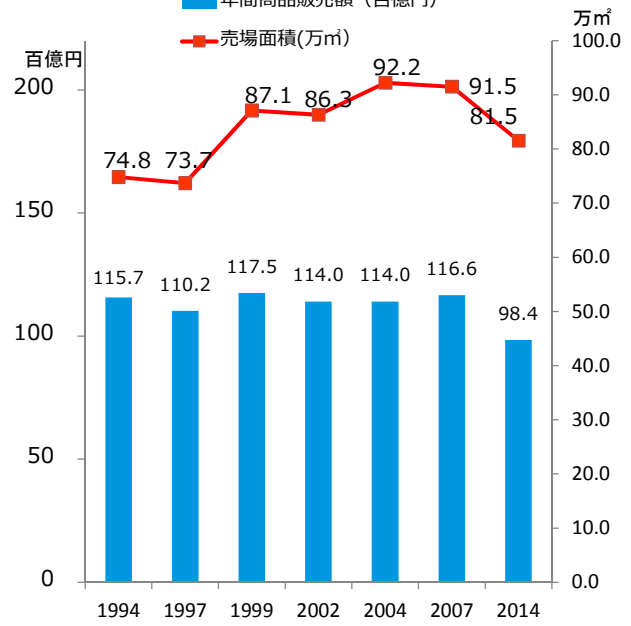
小売業の状況

2014年の小売業商店数は4,950店で1994年からの20年間で約半分に減少

市内小売業の事業所数と従業者数



市内小売業の年間商品販売額と売場面積



出典: 商業統計調査

卸売市場の現状と課題

卸売市場を取り巻く環境の変化

・人口減少と高齢化の進展 ・1人当たりの消費量の減少

・市場外流通の拡大

一般小売店の減少と産地との直接取引を進める量販店の大規模化
市場経由率は、青果で6割程度、水産物で5割強、花卉で8割弱

・輸入の増大

・国の動向

など

川崎市卸売市場の現状と課題

・多様化する消費者ニーズへの対応

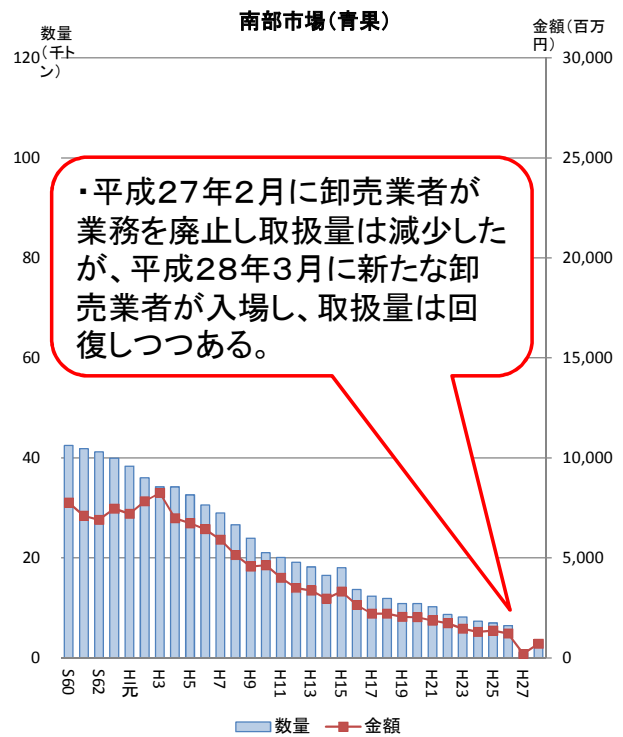
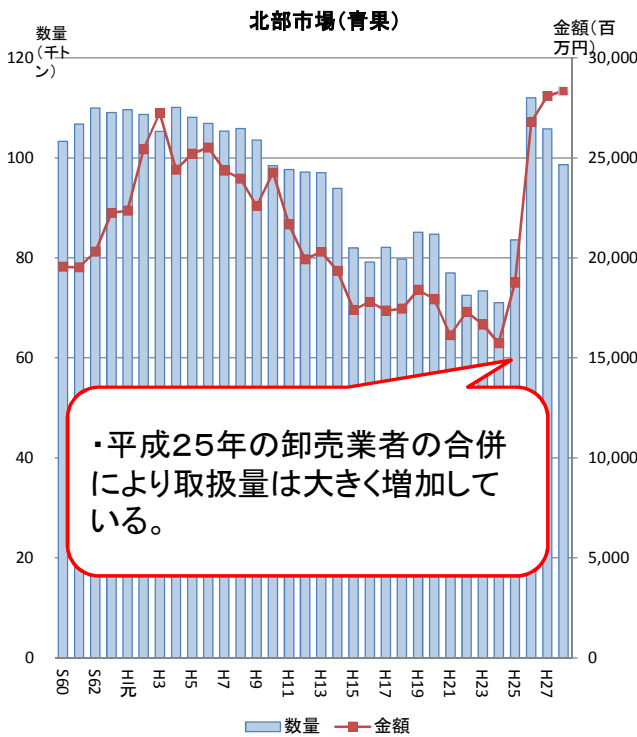
・取扱数量の減少

・卸売市場の持つ社会的価値の確保

・施設の老朽化 など

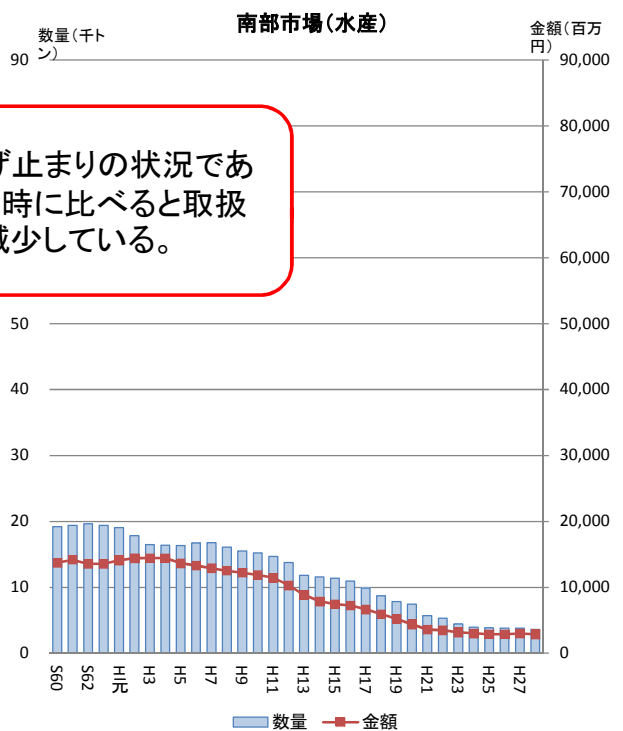
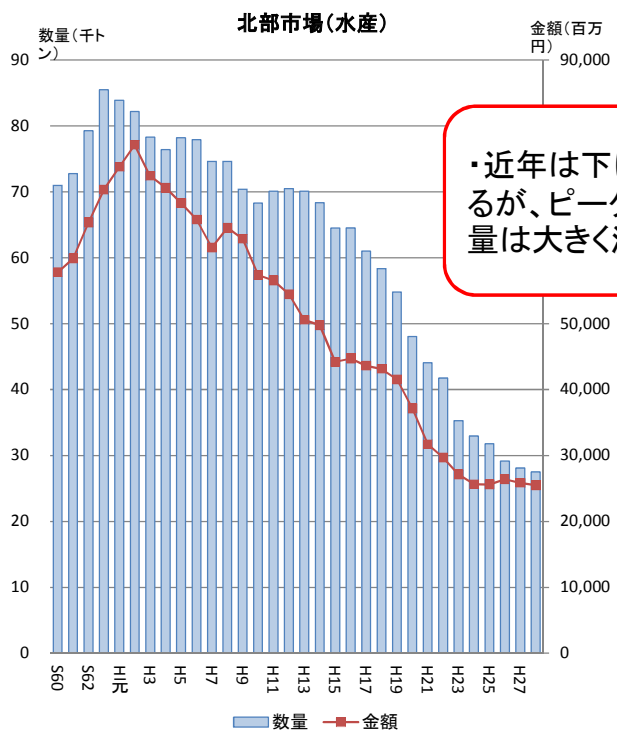
卸売市場の現状と課題（青果 取扱量）

概要 背景 取組 成果 まとめ



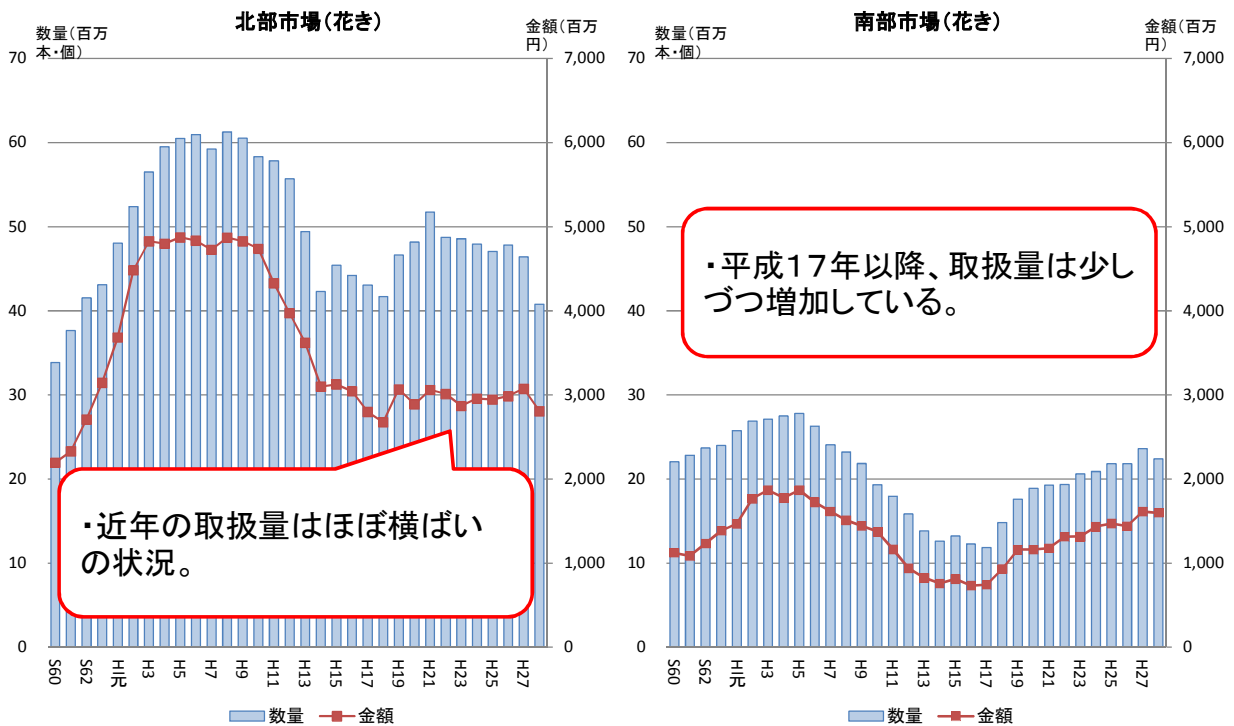
卸売市場の現状と課題（水産 取扱量）

概要 背景 取組 成果 まとめ



卸売市場の現状と課題 (花卉 取扱量)

概要 背景 取組 成果 まとめ



地域特性に応じた活力ある商業の振興①

概要 背景 取組 成果 まとめ

○多数の大型商業施設や商店街が集積する川崎駅周辺地区などの商業エリアにおいて、ブランド力のある商業集積地を形成

商業振興の主な取組

商業ネットワーク事業

- 川崎駅周辺の集客や回遊性の向上、賑わいの創出のため、地元主体のイベント事業等に支援を行い、中心市街地としての魅力を市内外に広くPR
- 商店街や大型商業施設等と連携し、川崎駅周辺を都市ブランド力のある商業集積地として形成
 - ・全国餃子まつり (新規)
 - ・かわさき阿波おどり
 - ・アジアンフェスタ
 - ・いいじゃんかわさき
 - ・カワサキハロウィン (ほかイベント支援)

・カワサキハロウィン20周年

過去最大の来場者数13万人、メディア露出の実現による国内外への情報発信
新企画ハロウィン・キッズ・タウン・ツアーの実施



・アジアンフェスタ (4月)
来場者45,000人



・全国餃子まつり
(平成29年9月開催予定)
川崎競馬場内芝生広場



カワサキハロウィンのメディア露出の広告換算金額は約14億円

- TV露出数22番組
日本テレビ・TBSテレビ・フジテレビなど
- プリント露出数27掲載物
読売新聞・毎日新聞・東京新聞・The Japan Timesなど
- WEB露出数 443回
朝日新聞デジタル・47NEWS・Yahoo!ニュースなど

地域特性に応じた活力ある商業の振興②

概要 背景 取組 成果 まとめ

○商店街には、地域コミュニティの核としての役割も期待されることから、魅力ある店舗の創出や空き店舗を活用した開業を促進し、商店街を活性化

商業振興の主な取組

商店街課題対応事業

- 街路灯の維持管理が商店街の大きな負担となっていることからLED化等のエコ化を支援するとともに、防犯カメラの設置など安全安心な施設整備を支援
- 空き店舗を活用した事業への支援や創業予定者向けのセミナーの開催等を行い、個店を強化

・街路灯LED化等の商店街エコ化プロジェクト

事業費の1/2を支援（過去累計84件支援）

・防犯カメラ、AED設置等の安全安心事業

事業費の1/4を支援（過去累計39件支援）

・老朽化した街路灯等の施設撤去支援事業

事業費の1/2を支援（過去累計12件支援）

・創業予定者向けの商人デビュー塾事業

H28実績 19名受講し、1名が創業

・空き店舗活用アワード事業

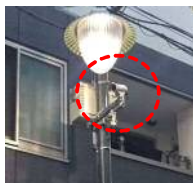
H28実績 表彰4件（大賞1件、優秀賞2件、奨励賞1件）

・商店街エコ化プロジェクト



商店街の街路灯をLED等の省エネ型に転換し、電気料の負担軽減を図るとともに、地球環境に配慮。

・安全安心事業



商店街に防犯カメラ等を設置し、安全安心な環境づくりを進める。

・空き店舗活用アワード事業

市内商店街で新たに開業したお店を募集し、審査の上、優れたお店を表彰
H28表彰件数 4件（大賞1件、優秀賞2件、奨励賞1件）



【大賞】「Pizzeria & BAR la mia fornace」吉崎 壱兵衛

所在 中原区新城（最寄り駅・武蔵新城）

業種 イタリアン（開業 H26年12月）

推薦 日光通り商店街振興組合

・日本の職人が作った薪窯で焼いたピッツァ、銀座のバーで勤務していたバーテンダーによるカクテル、自家製のドルチェ、全席禁煙の店内など、店主のこだわりをしっかりと店舗に表現している。

・開業間もない中でありながら、商店街の理事として組合への勧誘やイベントを企画するなど、精力的に活動をしている。

地域特性に応じた活力ある商業の振興③

概要 背景 取組 成果 まとめ

○大規模商業施設や商店街を一体的に捉えた魅力的な商業地域エリアを形成するとともに、地域ごとの特徴を踏まえた商業活性化策を展開

商業振興の主な取組

商業力強化事業

- 商業集積エリアにエリアプロデューサーを派遣し、商店街が多様な団体と連携してエリアが抱える課題を解決する取組や地域特性を生かした取組を進め、商業集積エリアの活性化や商店街の組織力強化を推進

・エリアプロデュース事業

大師エリア、鹿島田エリア、新城エリア、二子エリア、登戸エリア、遊園エリア、百合丘エリア

・魅力あふれる個店創出事業

H28実績 2件

・事業者ネットワーク構築事業

H28実績 セミナー 2回開催

・商店街出張キャラバン隊

H28実績 キャラバン隊58回

・商店街連合会の支援

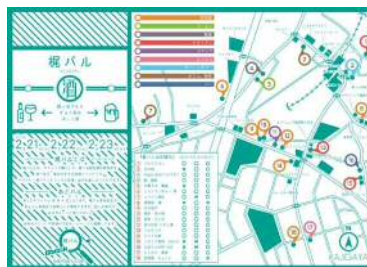
・エリアプロデュース事業 遊園エリア



～ 神奈川新聞に掲載 ～

・魅力あふれる個店創出事業

梶ヶ谷街ハル



街ハルを梶ヶ谷地域で開催することで、イベントに参加する飲食店を梶ヶ谷地域の住民に知ってもらい、新規顧客の獲得及びリピーターの獲得を目指した事業



・事業者ネットワーク構築事業

また来なくなるお店・商店街を考えるセミナー



商店街活性化の三種の神器のひとつで、全国約240箇所で開催されている「まちゼミ」を切り口にセミナーを実施

※商店街活性化の三種の神器

- ・街ハル
- ・100円商店街
- ・まちゼミ

地域特性に応じた活力ある商業の振興④

概要 背景 取組 成果 まとめ

○商店街等が抱える課題に対して専門家を派遣し、課題解決に向けた取組を実施。市内の優れた商品を宣伝し、販路拡大に向けて商工会議所と連携した商業の活性化

商業振興の主な取組

商業バリューアップ事業

○商店街や商業団体が抱える課題に対して、専門家（アドバイザー）を派遣し、商店街等が研究会・講習会等を通じてアドバイザーを受けすることで、商業の活性化を図る

・アドバイザー事業（専門家派遣）

内容	制度利用団体
商店街イベント開催に関するアドバイス	南加瀬原町商店会
商店街課題に関する情報共有	日光通商店街振興組合
商店街イベント開催に関するアドバイス	小倉商栄会
まちづくりに関する勉強会	川崎銀柳街商業協同組合
川崎駅周辺商業の活性化勉強会	川崎駅広域商店街連合会
商品写真の撮り方	菓子協青年部

○市内産品の消費拡大の推進のために、名産品の宣伝及び販路拡大に取り組むBuyかわさき出品者協議会の活動を商工会議所と連携して支援

・Buyかわさきフェスティバル

・アドバイザー事業

商店街イベント開催に関するアドバイザーの結果、朝市を開催



～東京新聞に掲載～

・Buyかわさきフェスティバル

6,11月に開催、合計来場者26,000人



地域特性に応じた活力ある商業の振興⑤

概要 背景 取組 成果 まとめ

○商店街には、地域コミュニティの核としての役割も期待されることから、商店街の魅力を高めるイベント事業等への支援。また、地域におけるコミュニティ機能や憩いの場としての機能を担っていることや公衆衛生上の役割を担っている公衆浴場への支援

商業振興の主な取組

地域連携事業

○商店街が地域住民に親しまれ、地域コミュニティの核となるために実施するイベントなどのソフト事業実施

・商店街ソフト事業（イベント・情報発信） **H28実績:27件**

○市民の保健衛生に不可欠な公衆浴場の経営安定を図るための助成を実施

・市内公衆浴場の経営安定等の支援 H28実績:46件

○川崎市、大田区に共通して多くの公衆浴場が存在することから、スマートフォンを使用した銭湯マップ作成、スタンプラリーを実施

・大田区との連携協定に基づく公衆浴場組合との連携事業 H28実績スタンプラリー（2,467DL）、銭湯マップの作成等

フロンターレと連携したおふるんたーれ企画の実施



SNSを活用したハピふる



アートと食の祭典 しんゆりマルシェ2016



川崎・大田連携事業 ～東京新聞に掲載～



※部会時点の見込み値であり、確定値は以下のとおりです。
H28実績：25件

地域特性に応じた活力ある商業の振興⑥

概要 背景 取組 成果 まとめ

○市内大規模商業施設立地に際しての周辺環境の保持。中心市街地である川崎駅周辺の都市機能に必要な施設維持

商業振興の主な取組

まちづくり運動事業

- 大規模小売店舗立地法に基づき、店舗設置者に対して周辺環境を保持するよう指導し、法を適正に運用
 - ・大規模小売店舗立地法の運用
 - 新設3件、変更15件を処理
 - 新設 ライフ川崎大島店、ノジマ川崎水沢店、ドンキホーテ東名川崎店
- かわさきTMOが実施する、川崎駅周辺の活性化に資する「フェスティバルなかわさき共同PR」事業や「外国語案内表示板」を作成し、10商店街に設置するインバウンド事業などに対して支援
- 川崎駅東口広場地下街公共地下歩道負担金について、市の政策として公共地下歩道の設置を要したため、地下街を管理している川崎アゼリアとの協定に基づき、市が維持管理に必要な額の一部を負担
 - ・公共地下歩道負担金の支出
- 経済労働局が設置した川崎地下街エスカレーター（4基）について、地下街を一体管理している川崎アゼリアに維持管理事業を委託
 - ・エスカレーター維持管理業務

・フェスティバルなかわさき 電車車内広告



外国語案内表示板



卸売市場の取組①

概要 背景 取組 成果 まとめ

卸売市場の施設整備事業



●配送棟
(平成26年10月完成)

【事業主体】青果部卸売業者
【敷地面積】4,995㎡
(2階建て/機能:荷捌き、事務所、加工等)



●荷捌場棟
(平成28年7月完成)

【事業主体】
青果部卸売業者
【敷地面積】
1,818㎡
(平屋建て/機能:荷捌き、
荷置き)

●パッケージ場
(平成26年12月完成)



【事業主体】青果部卸売業者
【敷地面積】1,057㎡
(2階建て/機能:加工、荷捌き、冷蔵等(野菜等のカットやパッケージ詰めなど青果の加工・商品化を行う。))



卸売市場の取組②

概要 背景 取組 成果 まとめ

取引・経営に対する指導監督業務

●売買取引の指導・監督

日々の取引の監視や法令等に基づき提出される書類の審査などを通じて、公正で効率的な取引の確保を図る。



●場内事業者の財務及び業務検査の実施

場内事業者(卸・仲卸等)の経営状況を把握し適切な改善指導等を行うため、公認会計士や中小企業診断士などの専門家による検査等を実施する。

●講習会の開催

場内事業者の人材育成の強化や経営力の向上等を図ることを目的に、専門家による講習会を実施する。



卸売市場の取組③

概要 背景 取組 成果 まとめ

卸売市場の活性化事業

●地域の消費者向け、市場のPR事業



すし講座



親子花育講座



いちばいち

●出荷者と実需者をつなぐコーディネート機能の強化



消費者ニーズ



市場の目利き力を活かしたWEBページ

産地情報



卸売市場の取組④

概要 背景 取組 成果 まとめ

卸売市場のエコ化の推進（北部市場）

環境にやさしい「エコ市場」を実現するため、「北部市場エコ化対策推進委員会」において、次の取組を実施

● 廃棄物の減量化・リサイクル等の推進

- ・ 微生物分解を利用した「消滅型生ゴミ処理機」を活用し、場内から排出される生ゴミを処理し、CO₂の排出量削減に貢献（年間約100トン）
- ・ 「廃発泡スチロール」のリサイクル（年間約390トン）
- ・ ダンボール、魚腸骨のリサイクル

● 木製廃パレットをバイオマス発電の発電燃料として有効利用



消滅型生ゴミ処理機

● 省エネ・環境対策等の推進

照明器具のLED化やフォークリフト等の電動化の推進

● エコ市場のPRの推進

市場のエコ化を市場内外にPRし、北部市場の魅力向上に繋げる



Colors, Future!
川崎市

施策4-1-2 魅力と活力のある商業地域の形成



19

卸売市場の取組⑤

概要 背景 取組 成果 まとめ

卸売市場の効率的な運営（南部市場）

● 指定管理者制度の導入

- ・ 導入の趣旨
市場運営の効率化を図り、賑わいのある地域に密着した市場を目指す
- ・ 指定管理者
川崎市場管理株式会社
- ・ 業務の範囲
警備、清掃、施設保守及び維持補修、活性化対策事業
- ・ 指定期間
平成26年度から平成30年度までの5年間
- ・ 事業経費
売上高に応じた市場使用料、施設使用料収入を充てる



Colors, Future!
川崎市

施策4-1-2 魅力と活力のある商業地域の形成



20

卸売市場の取組⑥

卸売市場の効率的な運営（北部市場・南部市場）

●卸売市場経営プラン（平成28年2月）の策定

開設者と市場関係者が一体となって、卸売市場の位置づけ、役割、機能強化の方向性等を定めた、平成28年度からの概ね10年間の計画期間としたプラン

●卸売市場経営プランの推進に向けた検討

卸売市場経営プランに基づき市場機能の強化や持続可能な市場経営体制の確立に向けた取組の推進を図るための具体的な方策の検討

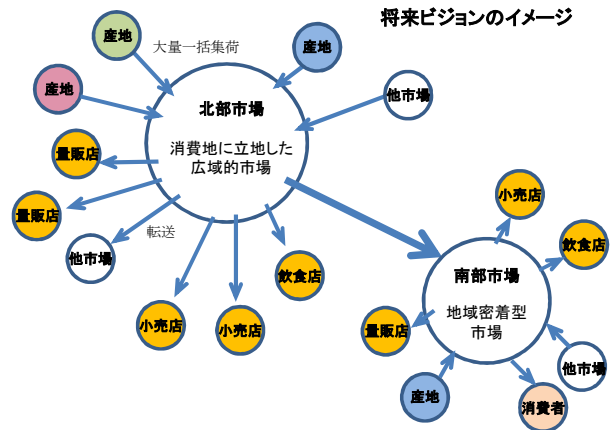
将来ビジョン（卸売市場経営プランより抜粋）

「消費地に立地した広域的市場」

実需者や消費者との距離が近い消費地市場として、今後人口増加が見込まれる開設区域内を中心に生鮮食品を供給する役割を果たすとともに、広い敷地や交通網の良さを活かし、卸売市場が少ない広域への物流拠点機能も果たす市場を目指す。

「地域密着型のコンパクト市場」

北部市場より川崎の中心市街地に近い立地特性を活かし、市民の食生活を支えるとともに、食や花等の文化の発信拠点としての「地域密着型市場」を目指す。



北部市場

南部市場

卸売市場における今後の取組

(1) 消費者のニーズに合った商品を安定的に供給するという卸売市場の基本機能の強化

- ①流通の変化に対応した効率的で機動性のある市場としての機能強化
- ②柔軟に顧客に対応できる市場としての機能強化
- ③出荷者と実需者（小売店等）をつなぐコーディネート機能の強化

(2) 市場に求められる社会的機能の発揮

- ④食の安全・安心と食文化に関する取組の強化
- ⑤環境と災害対策の強化



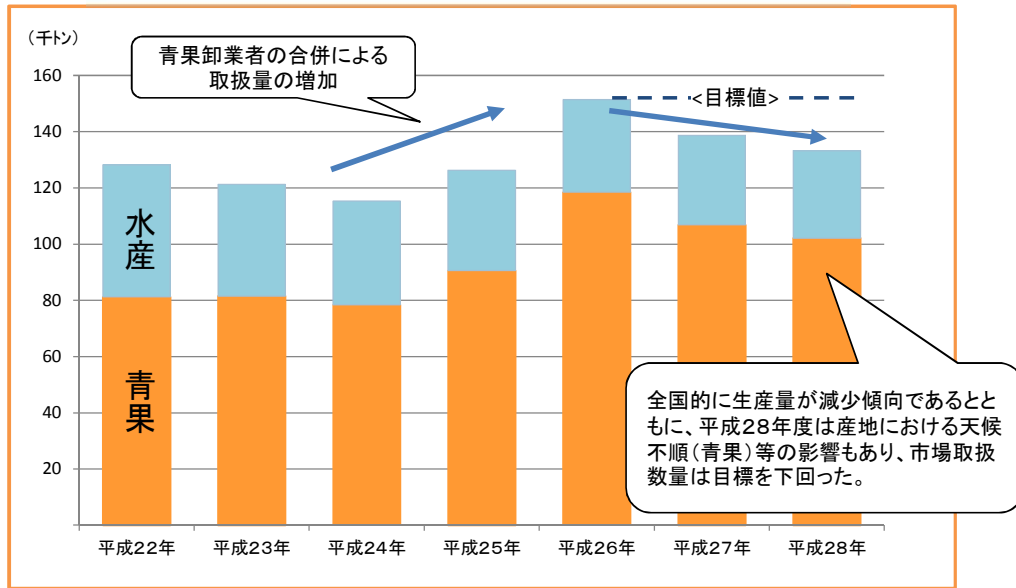
(3) 持続可能な経営の確保

- ⑥持続可能な市場経営体制の確立

成果指標の達成状況について

概要 背景 取組 成果 まとめ

年間卸売取扱量の推移(目標数値との比較)



卸売市場経営プランに基づく市場活性化により、目標の達成を図る！！

施策の進捗状況

概要 背景 取組 成果 まとめ

施策の進捗状況 B 一定の進捗がある(目標達成に向けて進捗している)

理由

- ① 配下の事務事業の取組は、ほぼ掲げた目標どおり進捗しています。
- ② 市内で実施したイベント等の来場者数は増加しており、イベント実施に伴う商品の購入機会も増加していると考えております。
- ③ 産地における天候不順等の影響もあり、市場の取扱数量が目標を下回っておりますが、卸売市場経営プランに基づく市場活性化の取組や、効率的・効果的な維持管理・運営など配下の事務事業の取組は、掲げた目標どおり進捗しており、これらの取組を総合的に進めることにより、目標値に近づくと考えております。

【施策の進捗状況区分】 A 順調に推移(目標達成している)、B 一定の進捗がある(目標達成に向けて進捗している)
C 進捗は遅れている(目標達成が遅れる可能性がある)、D 進捗は大幅に遅れている(目標達成が難しい可能性がある)

今後の方向性

Ⅱ 概ね効果的な構成である(一部見直し等の余地がある)

理由

- ① 商店街では、担い手の高齢化等、依然として課題はあることから、引き続き施設整備補助やイベント支援のほか、商店街が取り組みやすい施策を展開してまいります。
- ② 平成28年2月に策定した「川崎市卸売市場経営プラン」により、卸売市場の位置づけや役割、機能強化の方向性を明確化しました。今後は当該プランに基づき、市場関係者と連携を図りながら、実現可能な施策から順次取り組み、市場の活性化につなげていきます。

【今後の方向性区分】 I 効果的な事業構成である(現状のまま継続する)、Ⅱ 概ね効果的な構成である(一部見直し等の余地がある)
Ⅲ あまり効果的な事業構成でない(見直し等の余地が大きい)、Ⅳ 事業構成に問題がある(抜本的な見直し等が必要である)



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市